



# 思想戦士の重責自覚

## 南方經濟調査班を派遣

社長 古野伊之助

### 變遷に次ぐ變遷

#### 變遷に次ぐ變遷

昨日支那事變五周年を迎へ、今朝またここに諸君と會して第七回の大詔奉戴日を迎へるに當り靜かに過去五年間にわたつて、わが皇國日本がたどつて來ました姿を顧みますと眞に感慨一人深いものがあるものであります。支那事變勃發當初におきましては、岩永前社長も在世の當時でありましたので私も比較的容易に東京をはなれることが出來ましたので、事變勃發間もなく大陸に戦つた將兵を慰問しかたがたわが社の同志が報道の前線に立ち動く模様をみるためしばしば前線に行く機会が多かつたのであります。しかししてあるときは滿蒙の山野に、或は山東の戦線に皇軍の將兵が血を流し、骨を曝して戦つてゐる現實の姿を目撃しては内地に歸つたのであります。

この僅か五年の間に到底その當時夢想だにし得なかつた變遷に次ぐ變遷、變遷に次ぐ變遷が素晴らしい足取りで國內情勢が、世界の如大勢が、變遷して參つたことばかりであり、何にも著しいにただ驚嘆するばかりであります。事變當初は戦線を廻つて歩く都度、この大きな

客觀的事實が、しかも日本國民衆の力によつてこの大陸において展開されてゐるのであり、日本の本土においては永い間の自由主義的思想を基調に人間を對象として個人の意識、物を對象として資本主義的な意識の瀰漫してゐることは争ひ難き事實から、この國民の意識と大勢は必ずや根本的に變革されるに相違ないことを深く痛感したのであります。

何となれば大陸における戦は軍人と稱する特殊階級の人々がやつてゐるのではなく、われわれ國民全體の層から出た熊公、八公、八百屋、上流社會、有識者階級などがみな一丸となつて、あらゆる階級を忘れて、地位、職をすて、御國のために命を捧げてゐるのであります。この大きな客觀的情勢は何でもかんでも日本國民全體の意識と大勢を根本的に變革するに相違ないことを深く確信したのであります。

諸君も日常日本一億國民に對ける世界情勢をもつとも早く察知すべき立場におかれ充分考へられ、これを承知の通りで、しかししてアメリカの豊富な資源と工業力を動員して

飛行機の製造、潜水艦建造へと必死の努力をやつて何でもかんでも年内に第二戦線の確立へと最後の足掻きを續けてゐることは外國から流れこむ情報によつて極めて明白に察知し得られるところであり

しかも着々として國民全體の意識と大勢は驚くべき變化を遂げつゝ參つたのであります。戦局は北支から中支へ、中支から南支へと全支那本土に亘り、昨年十二月八日をもつて遂に大東亞戰の勃發に至りました。しかしして大東亞戰争六ヶ月の戦果は全く世界戦史に例なき、この六ヶ月の戦果の結果は軍事的には必勝不敗の立場を確立し、政治的には民族集團の確立がならんとしをります。この情勢を振り返つて考へてみますとただ皇運の有難さに感泣せざるを得ないのであります。またこれまでにわれわれも報道戦線で矚れた幾多の尊い犠牲者も出しましたが、國全體としては十數萬に上る尊い犠牲者を拂つてゐるのであります。

かくして今日までの推移を靜かに振り返つて、同時に來るべきわれわれ日本國民の前途を考へるとき一體如何にこの情勢をみるべきであらうか。私はこの頃大東亞戰争半歳を経て始めて世界の情勢が本格的段階に入つたのだといふことを痛感してゐるのであります。

昭南に南方總局設置

津支局新設

津市丸之内本町(伊勢新聞社)に寄與する目的を有つものである第一回調査は纖維工業、主として綿業および人造纖維關係を目標とし、大阪および東京の有力會社約二十社中より十名の調査員を選抜して、これを同盟に出向せしめる

爾來幾多の政治、經濟、文化、生活、あらゆる分野において幾多の波瀾あり、幾多の曲折を経て參りましたことは事實であります

皇國不敗の趨勢と  
英米の第二戰線策

津支局廢止

岡谷支局  
松本支局

南方各地に  
經濟調査員派遣

號九十五第  
月八年七十和昭  
行發日十月每  
行發日十・回一價定  
錢五六部一價定  
錢十六(共稅)分年  
一才田杉 編輯行發  
國公谷比日區町總市京東  
社信通盟同 所行發

世界の安定勢力たる日本の立場確立

津支局廢止

岡谷支局  
松本支局

津市丸之内本町(伊勢新聞社)に寄與する目的を有つものである第一回調査は纖維工業、主として綿業および人造纖維關係を目標とし、大阪および東京の有力會社約二十社中より十名の調査員を選抜して、これを同盟に出向せしめる

津支局廢止

岡谷支局  
松本支局

社長訓示

世界最大、最強の通信社確立の使命

われわれはもろろん世界最大、最強の通信社を確立しなければならぬといふことをつくづく痛感したのであります。...

ただ言葉で世界第一だ、世界最強だといつても、さうしたものが演説や、講演で出来るものではない。...



南支總局の第七回大詔奉戴式

ぬと考へるのであります。あらゆる機会にかうしたことを私は力説してゐるのであります。...

な經濟戰を展開して參らなければならぬことはいふまでもなく、武力戰に伴つて、經濟建設に國を擧げて力を集中してゆかなければならぬ。...

國の總力を擧げて實踐しなければならぬ。決して新聞關係事業の獨善であつてはならぬ。...

られることになりました。この人々を最近それらの部局で同盟は一體何をしてゐるか？

一つは國の經濟政策確立の方向を誤らしめざる同時に、それらの産業界の實際の進出に資したいといふ考へに出たのであります。...

今日の話はこれで終りますが、序にもう一つ、この機会に附け加へておきたいことは、この戰爭は一面戰爭、一面建設の段階をたどつて進展しつゝあることは御承知の通り。...

集合、嚴かに大詔奉戴式を舉行した。國民儀禮の後、横田局長は恭々しく詔書を捧讀、次いで局長より時局講話あり、一同職域奉公の覺悟を新にして式を終つた。...

義孝、小野重信、小幡一茂、中野武則、柳吉松、宇佐美猪之松、佐藤直次郎、荒田政治郎、大島惣平、川面茂雄、金子俊郎、阿部行雄、相笠八郎、井上霞、丸山良司、結城藤七、藤澤茂夫、服部鈞、林清、井上文雄、今泉善次郎、石井圭三、早津三郎、大柿菊次、石田誠一、中津貞雄、小田野淳、優等生、有坂辰一郎、中野武則、有坂辰一郎、中野武則、相笠八郎、丸山良司、結城藤七、藤澤茂夫、井上文雄、今泉善次郎、石井圭三、早津三郎、大柿菊次、大塚誠、池田長美、岡野

前線 だより 社旗を目送して涙す 南方派遣第三八九三部隊金澤隊 末木 一郎

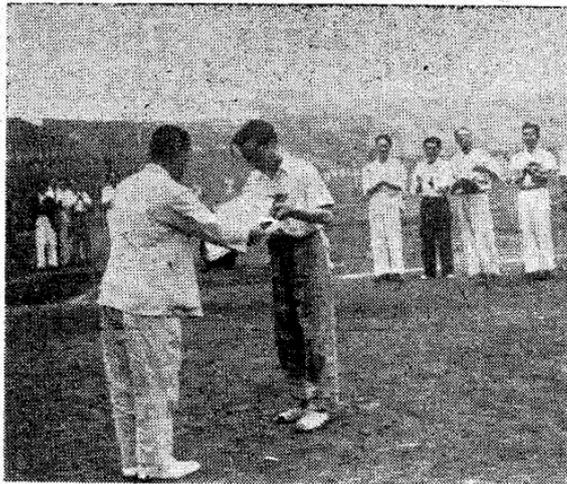
# 野球夏の陣縦横記

## 榮ある社長楯は調査部チームへ

全社員の視聽を集めて六月初旬小石川後樂園球場で血戦の火蓋を切つて落した本社第一回各部對抗優勝野球大會は榮えある社長楯をめぐつて全十試合、参加十一チームの敢闘裡に華々しい成果を収め七月十四日調査部對社會部の一戦をもつてその幕を閉じた。

○！○

戦前の申合せに試合開始は午前七時、開始時間までに、選手揃はぬときは棄権と見做すとあつて、日頃早起に慣れぬ参加選手一同はこれが先づ第一の強敵、やつと征服して試合場に臨めば寢呆けるあり宿醉あつて珍ブレイ續出、今その二、三を紹介すると捕球にグロップをおつかぶせる「バツタ抑」の妙手、直球を「暮口取り」して指を突く奇手、飛球を「萬歳」して掴み損ふ珍技等々、敵味方咲笑和氣瀟々の中に番數も取進んで社



社長優賞楯を調査部チーム代表木田主將に授與

會、調査の兩強豪が決勝に相見えることとなつた。

宣傳謀略を得意とする社會部は戦前社内各所にピラを掲げ、自軍の優勢を誇示すれば、調査部は古武士的決意をもつて黙々一劍を磨いた。戦前の豫想では持駒の豊富と宣傳の力によつて斯道の權威體育部をして「社會部の實力は優勝を決定した」とまで評せしめたのであつたが……

かくて決勝戦は古野社長自らの始球式にその火蓋を切つた。しかるに試合が開始されると社會部は強豪の面影何處へやら、調査木田投手の曲球に枕を並べて討死、六頃の豪語に似合はず八回までに、對○と大きく離され、九回目敵側の混亂に乗じて三點を拾つたが及ばず、一敗地に塗れた。

○！○

かくて榮えある社長楯は調査の頭上に輝いたがその榮冠は己を知つて努力研鑽したことに起因すべく、社會の敗因は宣傳に酔つて自己の實力を過信した米英的失敗にあつたと云へよう。(イタ生記)

第一回各部對抗優勝野球大會戰績  
△一回戰  
出版21—6總務  
(五回コールド)  
社會17—1政經

(同)

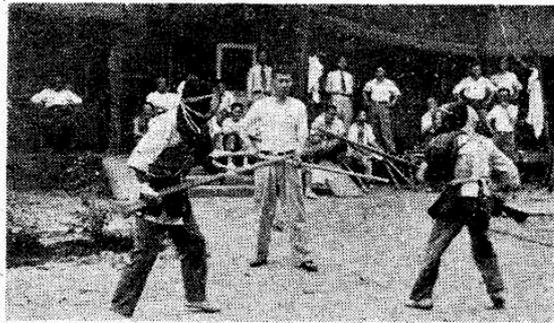
(調査部チーム)  
前列左より立岡、一條、高須、木田、高田、濱田、後列左より四人日足立、それより(白シャツ)右へ宮城、彦坂、西村監督、その前齋藤(左)、山崎(右)諸君



我が支局では今日この頃の暑でも全員熱汗政闘のはりきり方であるが、今夏は「戦時銷夏法」を採用し三伏の苦熱を蹴飛ばしてゐる。即ち墨痕淋漓壁の貼紙に曰く「當支局員は絶対に今後「暑い」などとはいはず、南方の兵隊さんをも思ふで酷暑を克服しませうそれがため今後暑い」といつた人は必ず一錢獻金をなすことと、同時に大きな竹製の獻金筒も設けられた。「あ、暑い」と不用意に洩らせば忽ち一錢獻金だ。獻金はやがて我等の兵隊さんへ贈る何個かの慰問袋となるのだ。

## 北支總局の 武道・稽古

酷暑を克服して非常時報道人の身體を鍛へようと北支總局では先頃から總局中庭でエイ、オーの裂帛のかけ聲物凄く銃剣術と劍道の訓練を始めた。銃剣術は基本練習も一通りを終つたので去る六月二十七日北支軍報道部員、佐々木總局長等觀戰の下に大試合を繰展けた。(寫眞は當日の熱戦)



## 互助會報告

▽七月分△

### △出生

今泉 德造(青森)長男  
淡 秀男(福岡)同  
荒井 秀信(富山)同(第四子)  
大屋久壽雄(編輯)同  
野吉 金満(編知)同  
住田 秀春(編輯)同  
芥川 典(同)同  
渡邊政之助(京都)同(第三子)  
吉田 秀夫(臺北)同  
稻津巳喜二(中支)同(五月)  
瀧口 義敏(經濟)三女  
廣田 應球(京城)同  
崔 基 涉(同)六男

### △結婚

明峰 嘉夫 編 輯  
中倉 珠子 大 阪  
藤田 令充 同 同  
入江 一夫 京 都  
安本 宣雄 北 支(五月)

### △應召・入營・徵用

遠藤 政雄 編 輯  
田崎與喜衛 同 同  
山下近次郎 大 阪  
鈴木 豐雄 京 城  
鈴木 宗喜 支 隊  
松永 富男 中 支  
佐藤 太郎 支 隊  
矢野 安男 通 信

### △見舞

山田良多郎 總 務  
久村定雄 同 同  
金谷貞次郎 同 同  
馬淵 謙一 編 輯  
池田 純一 同 同  
小林猪四郎 同 同  
北 雄士 同 同  
高倉 義雄 同 同  
山本 留吉 同 同  
八木 芳枝 同 同  
奥村 久 同 同  
丸山 信也 同 同

植松 尚男 長女病氣  
小池 千尋 同 同  
大黒 義夫 同 同  
齊藤 保衛 同 同  
伊藤 卓郎 同 同  
藤田 金造 同 同  
松本 茂 同 同  
祝原 和子 同 同  
小沼 靖 同 同  
堀川 武夫 同 同  
大 義雄 同 同  
前田 康 同 同  
尾崎 國子 同 同  
川崎 政雄 同 同

相良 一雄 應召中  
畑中 好夫 京 都  
河野 賢 同 同  
長木 久行 同 同  
深野キヤ子 同 同  
大宮 康男 同 同  
廣瀬 勘次 同 同  
仲宗根朝松 同 同  
畑 正甫 同 同  
吉富 敬 同 同  
水野 康夫 同 同  
荒川 穆 同 同

和田 豊女 同 同  
木下 貞子 同 同  
曾我 好文 同 同  
佐藤セツ子 同 同  
佐藤敬三郎 同 同  
井野 康彦 同 同  
荳場 哲男 同 同  
野木智恵子 同 同  
奥村 芳枝 同 同  
小川 翠 同 同  
福田 米子 同 同  
高柳 文子 同 同  
是恒 信子 同 同  
黒石 壽 同 同  
大繼美英子 同 同  
山下松之助 同 同  
齋藤 義明 同 同  
坂口 清一 同 同  
沈 萬年 同 同  
合計件數 同 同

金 額 同 同  
四、七二〇圓

## 我等の銷夏法

(高松支局報)

體育15 A—9 內經  
△二回戰  
出版8—5 地方  
調查4 A—3 整理  
社會10 A—2 東亞  
經濟局12—8 體育  
△準決勝  
調查11—1 出版  
社會14 A—2 經濟局  
△決勝  
調查6—3 社會

### 同盟大家族組織と班長の任務

#### 同盟

は御承知の通り支那事變、大東亞戰爭と續いて起つた國の大きな異變にもなつて仕事も重く大きくなり、且つその任務も重くなつてくるばかりで、これに従事する人数、その使命を達成するために必要な機構は毎日のやうに大きくなつて行くばかりである。同盟は日本における特殊な存在で、どこまでも國家的使命を達成して行くための國のための組織である。故にこの仕事に携はるものは國家的使命を達成する同志である。

しかもその人数は毎月々々ふえて行くのみで、これが有機的一體となつて同盟本來的使命を達成しその任務を完遂するための社員数は——私は從來三千の社員といつてゐたのであるが、今年の暮頃に

は相當の成果を収め得たものと考へてゐる。この過去一年の経験を通じて、同盟本來的の目的を達成して行くためには、あくまでガツチリした仕組みでやつて行きたい。そこで班長を一年の年期で一應更迭して新しい顔觸で、それぞれの受持ち、つまり隣組の世話をする係りといふ建前をみんなに體驗してもらひたいといふことで新しい顔觸に移すといふ規定を設けてある。また各部の部長を班長にするのを避け、日頃仕事のうへで指揮監督の立場に立つ人達を殊更

と知れぬが、初めての試みとしては相當の成果を収め得たものと考へてゐる。この過去一年の経験を通じて、同盟本來的の目的を達成して行くためには、あくまでガツチリした仕組みでやつて行きたい。そこで班長を一年の年期で一應更迭して新しい顔觸で、それぞれの受持ち、つまり隣組の世話をする係りといふ建前をみんなに體驗してもらひたいといふことで新しい顔觸に移すといふ規定を設けてある。また各部の部長を班長にするのを避け、日頃仕事のうへで指揮監督の立場に立つ人達を殊更

精いつばい皆で力を協せて働いて、さうしてこの組織が十分に各員の生活を保證してくれる。その保證のもとに力いつばい、一生懸命に働いて行きたい。その目的といふことは自然明かになつてくると思ふ。どうかさうした気持ちで同盟一家族のその細胞組織であるそれぞれの小さい家族の家長であるといふ立場において自分の受持つ小さな家庭の安危を始終念頭において、同時に同盟全體の家族の發展とか改善とか、充實とかいふやうなことに間断なく配慮ある力添へをして、一人の社員も

またそれぞれの仕事を擔任して行く上にかうもしたら、もつと能率があげられるんじゃないやうかとか、無駄骨を折つて——仕組みを間違へてゐるために、若くは仕組みが妥當を缺いてゐるために、不必要な努力を費してゐるといつたやうな、氣付いた點は遠慮なく持出してもらひたい。

#### 職員

會の目的としてあげられてゐる各事項は自ら同盟は一家族である、その家長としての立場を自分等が擔任してゐるのだといふ気持ちで發足すれば、班長會議の目的といふことは自然明かになつてくると思ふ。どうかさうした気持ちで同盟一家族のその細胞組織であるそれぞれの小さい家族の家長であるといふ立場において自分の受持つ小さな家庭の安危を始終念頭において、同時に同盟全體の家族の發展とか改善とか、充實とかいふやうなことに間断なく配慮ある力添へをして、一人の社員も

### 職員會彙報

#### 新班長會議開く

本社

去る五月末改選された新班長の第一回會合は七月八日午後五時から五階會議室において開催、力強い發足をなした。先づ森前幹事長より辭任の挨拶とともに過去一ケ年の業績報告あり、次いで戸來新幹事長より就任の挨拶あり、新幹事、新協議員を紹介、各班長もそれぞれ自己紹介をなし、かくて古野會長は別項のごとく訓示をなしその使命の重大なるを強調して各員を激勵された。

次いで戸來幹事長より下情上通を活潑ならしむるため班長會は少くとも月一回以上開催されたと

希望、次に引續き事項の説明ありそのうち主要なる多摩川練成道場および醫療施設に關して粕谷厚生主任より特に詳細な説明を聴取した。

次いで練成各班の委員を戸來新幹事長より左のごとく指名し、今後の定例班長會議は先例に倣ひ毎月八日の大詔奉戴日に開催することに決定、會議を終つた。

△華道 加藤とめ(主任)、古田喜代、近藤春雄  
△第一推薦區 安達鶴太郎(本社編輯局)、桂田増三(同調査局)、中村滋雄(同經濟局)、東野貞雄(同通信局)  
△第二推薦區 久村定雄(同總務局)、高田秀二(同編輯局)、八田入善(青森)

△第三推薦區 加藤義春(名古屋)、吉谷清次(金澤)  
△第四推薦區 清澤次次(關門)、坂本龍基(福岡)

### 職員會協議員改選

#### 職員會國內協議員は互選の結果

#### 左の通り選任された。

△第一推薦區 安達鶴太郎(本社編輯局)、桂田増三(同調査局)、中村滋雄(同經濟局)、東野貞雄(同通信局)  
△第二推薦區 久村定雄(同總務局)、高田秀二(同編輯局)、八田入善(青森)

△第三推薦區 加藤義春(名古屋)、吉谷清次(金澤)  
△第四推薦區 清澤次次(關門)、坂本龍基(福岡)

△第五推薦區 山口重藏(札幌)  
△第六推薦區 鶴澤邦男(臺北)  
△第七推薦區 中島和夫(京城)

△漢口支局常會 總前衛武漢も大東亞戰勃發後在留邦人は在郷軍人、青年團、隣組等の諸團體はそれぞれ活潑な活動をなすとともに、友邦民衆と相携

へて各種の建設に挺身してゐる。わが同盟漢口支局においても從來町内會、隣組に對し支局長が代表加入してゐたのを廢し、今回支局員二十餘名をもつて新に隣組一班を結成し、各種建設事業に協力するとともに、社員の福祉増進をはかり、一層社業の發展を期することとなつた。かくて去る七月十八日第一回常會を開き、小松支局長以下社員參集して、協議懇談を行ひ、現地實情の有意義な發足をなした。(小松支局長報)

### 室蘭だより

室蘭支局は去る四月一日より開設され七月一日より陣容の整備なつて本格的事務を開始するにいたつた。人員は支局長以下七名、連署を以て猛烈な奮闘を續けてゐる。そして全支局員全く一丸とな

載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

### 漢口支局常會

總前衛武漢も大東亞戰勃發後在留邦人は在郷軍人、青年團、隣組等の諸團體はそれぞれ活潑な活動をなすとともに、友邦民衆と相携

へて各種の建設に挺身してゐる。わが同盟漢口支局においても從來町内會、隣組に對し支局長が代表加入してゐたのを廢し、今回支局員二十餘名をもつて新に隣組一班を結成し、各種建設事業に協力するとともに、社員

の福祉増進をはかり、一層社業の發展を期することとなつた。かくて去る七月十八日第一回常會を開き、小松支局長以下社員參集して、協議懇談を行ひ、現地實情の有意義な發足をなした。(小松支局長報)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

### 編輯

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)

去年あたりまでの海水浴場は軍需會社の豪勢な練成道場が幅をきかしてゐたが、今年は断然統制會の團體訓練場が多い。返子で省線を降りて同盟海の家まで行く間にも鐵鋼統制會鍛錬道場といふ熔鑪みたいな外から、日配海の家といふ出版關係以外には一寸想像のつかぬ統制會社の經營する海の家、さては蠶糸統制會の海岸祭などの道しるべが散見する。統制會で思ひついたわけではないが、日本新聞會の解説を岡村氏に二月前から依頼してあるが、本誌には間に合はなかつた。九月號には掲載出來ようと思ふ。(奈)